

コード	304020601
記入日	H23.6.10

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	釜崎 儀弘

事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	予防費
----------	-----

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 一 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	1
基本事業コード	30402	基本事業名称	母性並びに乳児及び幼児等の健康の確保及び増進	目コード	2
事務事業コード	3040206	事務事業名称	予防費	細目コード	689
関連計画	法令・条例規則等		予防接種法・予防接種健康被害調査委員会規則		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1)	2類疾病対象者	(対象指標1)	7,612 (H22.4.1現在65歳以上の者)				
(対象2)	その他の町民	(対象指標2)	15,598人				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
*****	・2類疾病対象者(インフルエンザ)だけでなく全世帯に接種奨励のお知らせを配布した。	*****	*****	*****	世帯配布1回+予定回数1回	*****	
		①	周知文書発行回数	1回	100%	平成22年度	
		(達成率分析)	予定どおり全世帯にお知らせを配布した。				
		②					
		(達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
	・重症化しやすい疾病の発生及びまん延を予防するため、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに予防接種による健康被害の迅速な救済を図ることを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
		*****	*****	*****	2類疾病接種者数	*****	
		①	2類疾病接種者数	5,456人	98.1%	5,456人+前年度2類疾病接種者数5,562人	平成22年度
		(達成率分析)	前年度とほぼ同数の人がインフルエンザ予防接種を受けている。				
		②	*****	*****	*****	*****	
		(達成率分析)	その他の接種者数				*****
			その他の接種者数	7,767人	104.5%	7,767人+前年度接種者数7,435人	平成22年度
		(達成率分析)	新型インフルエンザも影響して、昨年より増加したと思われる。				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	①	回	5	5	4	1	1			
	②									
成果指標	①	人	22,051	21,417	15,961	6,090	5,456			
	②	人	30,718	30,686	22,919	7,799	7,767			
総事業費 C (A+B)	千円	64,700	64,684	48,451	16,249	16,233				
直接事業費 A	千円	47,900	47,884	35,851	12,049	12,033				
人件費 B	千円	16,800	16,800	12,600	4,200	4,200				
内訳	従事職員数	人	2.4	2.4	1.8	0.6	0.6			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	64,700	64,684	48,451	16,249	16,233				

評価

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	疾病の発生とまん延を予防する上で欠くことのできない事業である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	疾病の発生とまん延を予防することは、公衆衛生上最も重要な課題であるとする。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	重症化及びまん延を防ぐ上で、予防接種の実施は適切であるとする。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	発生率及び重症化を防ぐ上で効果はあるものとする。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	より多くの人が接種することにより、疾病のまん延及び重症化を防ぐことは可能とする。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	患者数の増加及び重症化により、医療費の増加が予測される。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	医療行為であり難しい。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	毎年見直しを行っているため、これ以上の削減は難しい。
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	現在の人員を減らすことは、実施している事業ができなくなる恐れが出てくるため、難しい。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者負担を徴収しているが、金額の設定については、考慮する余地がある。

改善

改善策	1次評価	妥当性	疾病の発生及びまん延を予防する上で、予防接種の実施は重要であるとする。
		有効性	重症化を防ぎ、まん延を予防する上で、予防接種の実施は有効であるとする。
		効率性	一般住民への実施について、受益者負担をどのようにしていくか検討していく必要がある。
		課題に向けた改善策	特になし。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり。
		有効性	インフルエンザに関しては町民の関心も高い。特に新型インフルエンザの流行もあり接種者の増加になったと考えられる。
		効率性	受診率の向上、医療費の抑制にもつながる。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。